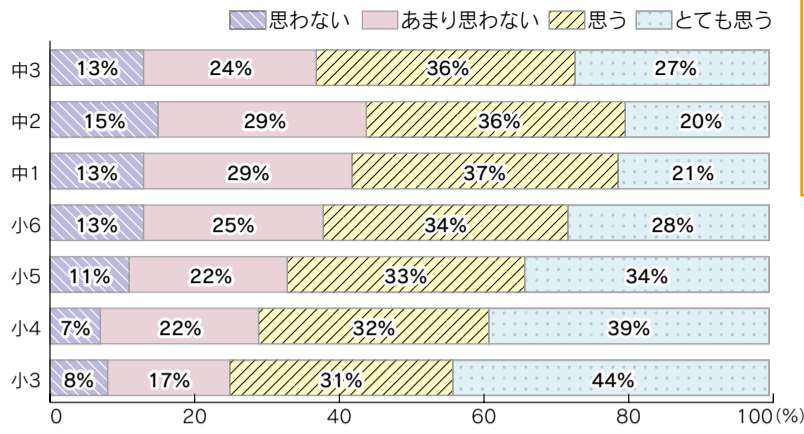


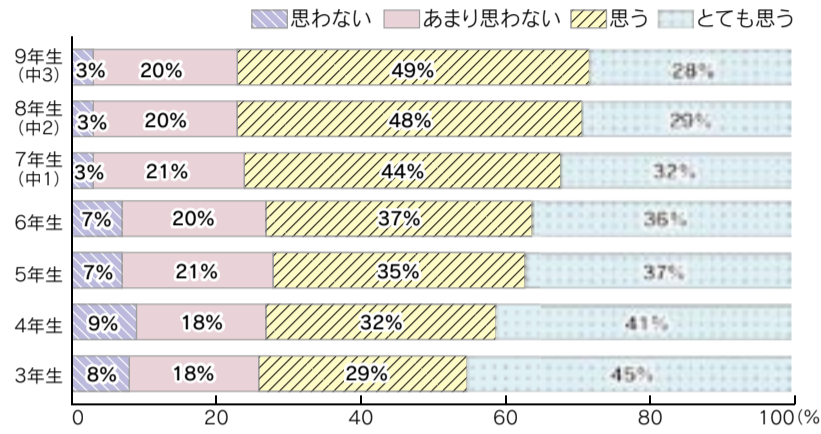
【資料1-①】平成17年度

日の里・大島中学校区における学習意識調査結果



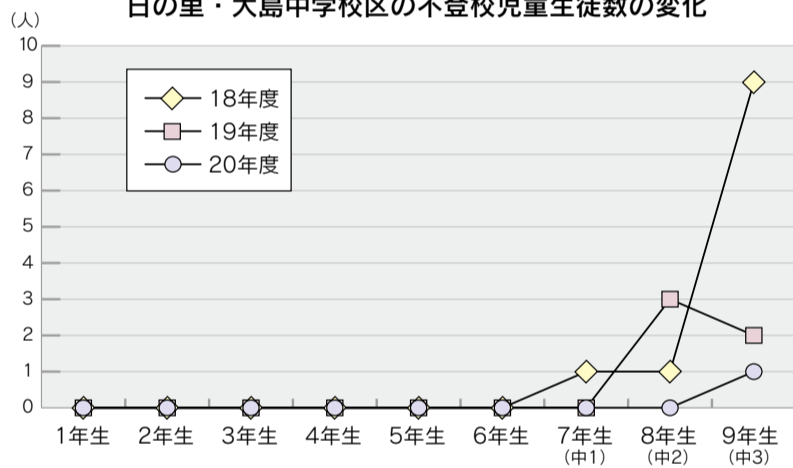
【資料1-②】平成19年度

日の里・大島中学校区における学習意識調査結果



【資料2】平成18~20年度

日の里・大島中学校区の不登校児童生徒数の変化



会話が弾む日の里中学校区の歓迎遠足

【資料3-①】保護者による児童・生徒の育ちに関する評価 (4点満点)

保護者によるアンケート (2学期)		18年度	19年度	20年度 (1学期)	20年度
クリエイティブ	①問題解決力	2.75	2.73	2.88	2.89
	②創造性	2.70	3.19	3.24	3.32
コミュニケーション	③社会力	3.00	2.67	2.76	2.80
	④道徳性	2.80	2.95	2.99	3.09
チャレンジ	⑤向上心	3.25	2.99	3.00	3.16
	⑥自己形成力	2.90	2.87	2.97	3.01

成果1
勉強が好きと言う子どもたちが増えました

3年間の研究成果

資料1は、「教科の勉強は好きですか」の問いに対する回答です。19年度の割合を見ると、小中

一貫教育導入直前の平成17年度よりも、教科の学習が好きなお子どもの割合が増えています。特に、中期(小5~中1)の児童・生徒で増えているこ

資料2は、日の里・大島中学校区における平成18~20年度(9月期)の

成果2
不登校の児童・生徒が減少しました

不登校の児童・生徒数の推移です。18年度の9人に対し、20年度は1人へと減少していることがわかります。特に7年生(中学1年生)の不登校数は0人になっています。今後、学校が楽しいと言える子どもを増やしていきたいです。

資料3は、平成18~20年度(2学期)までの日の里中学校区の保護者、

成果3
保護者や教師の児童・生徒への評価が高くなりました

資料3は、平成18~20年度(2学期)までの日の里中学校区の保護者、

教師による児童・生徒の育ちに関する評価(4点満点)

【資料3-②】教師による児童・生徒の育ちに関する評価 (4点満点)

教師によるアンケート (2学期)		18年度	19年度	20年度 (1学期)	20年度
クリエイティブ	①問題解決力	2.73	2.80	2.53	2.81
	②創造性	2.73	3.03	2.98	3.13
コミュニケーション	③社会力	2.70	2.79	2.68	2.88
	④道徳性	2.70	2.85	2.57	2.83
チャレンジ	⑤向上心	2.77	2.91	2.81	3.02
	⑥自己形成力	2.77	2.87	2.57	2.77

市では、平成18年度から日の里中学校区(日の里東小、日の里西小、日の里中)と大島中学校区(大島小、大島中)を、小中一貫教育の調査研究校として指定・委嘱し、研究を進めてきました。平成20年度で3年間の研究を終え、平成21年度からは小中一貫教育推進校として着実な歩みを始めています。ここでは、この3年間の研究を振り返り、成果や子どもたちの姿、その背景にある学校の努力と工夫点を中心に紹介します。



日の里・大島 小中一貫教育

モデル校指定 3年間のまとめ



大島中学校区の児童・生徒による5段タワー

教師による児童・生徒の育ちに関する評価の推移です。ほぼ全項目で、年々上昇していることがわかります。教職員による教育活動や組織運営に関する評価でも同様の傾向が見られ、小中一貫教育による成果に手応えを感じていることがわかります。今後、4点満点に近づくよう取り組んでいきます。

【資料4】児童・生徒の発達段階を考慮した教育区分

区分	前期 (小1~小4)				中期 (小5~中1)			後期 (中2~中3)	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
学年									
特色	学習や生活の基盤づくり段階 ▽学級担任制				小中学校接続強化の段階 ▽兼務教員による授業 ▽一部教科担任制			一貫教育充実の段階 ▽教科担任制	



体育の兼務教員による授業

① 兼務教員の授業や交換授業による一部教科担任指導方法の工夫

▽小中合同教科等部会を開催
教科などの学習指導の方法や学習の計画について調整、開発し、情報交



小中合同教科等部会を開催



1~9年生までが一緒に参加した歓迎遠足

② 小・中学校のつながりを考慮した指導計画の作成

① 一貫した教育目標と教育区分の弾力化
各学年の教育目標を統一し、児童・生徒の発達段階を考慮して、前期、中期、後期という3区分を設定しました(資料4)。

② 小・中学校のつながりを考慮した指導計画の作成

① 兼務教員の授業や交換授業による一部教科担任指導方法の工夫

② 校務組織、外部評価組織の工夫

▽小中合同校務会議を開催(写真②)
校長や教頭、教務主任、研究主任が出席し、小中一貫教育の方針や方策を決定していきます。

① 学習の指導方法や評価について、共通理解を図る時間設定や校内研修、会議などの共同開催などによって改善し、一層の子どもの学習意欲や学力の向上を図ります。

② 小中一貫教育を市内に拡大していきます。21

① 兼務教員の授業や交換授業による一部教科担任指導方法の工夫

② 校務組織、外部評価組織の工夫

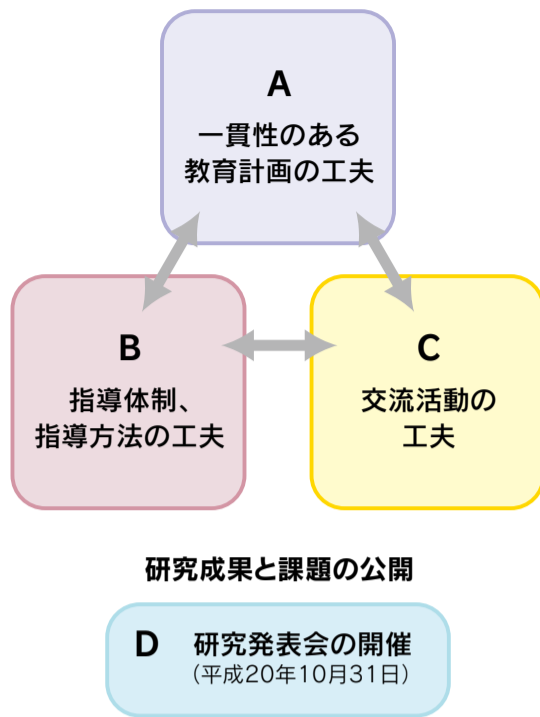
▽小中合同校務会議を開催(写真②)
校長や教頭、教務主任、研究主任が出席し、小中一貫教育の方針や方策を決定していきます。

① 兼務教員の授業や交換授業による一部教科担任指導方法の工夫

② 校務組織、外部評価組織の工夫

▽小中合同校務会議を開催(写真②)
校長や教頭、教務主任、研究主任が出席し、小中一貫教育の方針や方策を決定していきます。

日の里・大島中学校区の
小中一貫教育の工夫



成果を生み出した3つの工夫と研究発表会

研究成果と課題の公開

D 研究発表会の開催
(平成20年10月31日)



家庭科の兼務教員による授業

① 兼務教員の授業や交換授業による一部教科担任指導方法の工夫

② 校務組織、外部評価組織の工夫

▽小中合同校務会議を開催(写真②)
校長や教頭、教務主任、研究主任が出席し、小中一貫教育の方針や方策を決定していきます。

① 兼務教員の授業や交換授業による一部教科担任指導方法の工夫

② 校務組織、外部評価組織の工夫

▽小中合同校務会議を開催(写真②)
校長や教頭、教務主任、研究主任が出席し、小中一貫教育の方針や方策を決定していきます。

① 兼務教員の授業や交換授業による一部教科担任指導方法の工夫

② 校務組織、外部評価組織の工夫

▽小中合同校務会議を開催(写真②)
校長や教頭、教務主任、研究主任が出席し、小中一貫教育の方針や方策を決定していきます。

① 兼務教員の授業や交換授業による一部教科担任指導方法の工夫

② 校務組織、外部評価組織の工夫

▽小中合同校務会議を開催(写真②)
校長や教頭、教務主任、研究主任が出席し、小中一貫教育の方針や方策を決定していきます。

① 兼務教員の授業や交換授業による一部教科担任指導方法の工夫

② 校務組織、外部評価組織の工夫

▽小中合同校務会議を開催(写真②)
校長や教頭、教務主任、研究主任が出席し、小中一貫教育の方針や方策を決定していきます。

任制で指導
教師の得意分野を生かした小・中学校間の授業や一部教科担任制を、小学校の段階から導入しました。

児童・生徒の興味や関心、探究心が高まり、学習意欲の向上を確認することができました。

▽学校運営評議委員会を開催
各学校が別々に配置していた学校評議員に代わって、小・中学校合同で運営評議委員会を任命し、学校運営評議委員会を新たに組織しました。

これにより、小中一貫教育を客観的に評価し、教育活動の改善に反映することができました。

また、この評価は積極的に公表しています。

D 研究発表会の開催
日の里・大島中学校区の
小中一貫教育研究校の研究発表会が平成20年10月31日に開催され、県内外から合わせて約800人の参観者がありました。

▽日の里中学校区
日の里中学校区では、9年間の義務教育期間を子どもの成長に応じて前期(小1~4年)、中期(小5~中1年)、後期(中2~3年)に区分しています。



日の里東小でのバスケットボールの授業



音楽の兼務教員による授業

この3年間、中期では、日の里西小の先生が日の里中の家庭科、日の里東小の先生が日の里中の数学を指導しています。

また、日の里中大島中学校区は、共通の学校目標「豊かな心と確かな学力を身につけた子どもの育成」に向かって、少人数の特性を生かした個人カルテを作成し、その子に応じたきめ細やかな指導を推進しました。

▽大島中学校区
大島中学校区では、共通の学校目標「豊かな心と確かな学力を身につけた子どもの育成」に向かって、少人数の特性を生かした個人カルテを作成し、その子に応じたきめ細やかな指導を推進しました。



盛大に開催された9年生を送る会

この日実施された日の里東小の公開授業では、日の里中の体育の先生が、6年生にバスケットボールの授業を行いました。

また、日の里中大島中学校区では、共通の学校目標「豊かな心と確かな学力を身につけた子どもの育成」に向かって、少人数の特性を生かした個人カルテを作成し、その子に応じたきめ細やかな指導を推進しました。

この日実施された日の里東小の公開授業では、日の里中の体育の先生が、6年生にバスケットボールの授業を行いました。

また、日の里中大島中学校区では、共通の学校目標「豊かな心と確かな学力を身につけた子どもの育成」に向かって、少人数の特性を生かした個人カルテを作成し、その子に応じたきめ細やかな指導を推進しました。



大島中学校区でのミュージカル「ライオンキング」

今後に向けた改善点

① 学習の指導方法や評価について、共通理解を図る時間設定や校内研修、会議などの共同開催などによって改善し、一層の子どもの学習意欲や学力の向上を図ります。

② 小中一貫教育を市内に拡大していきます。21

① 兼務教員の授業や交換授業による一部教科担任指導方法の工夫

② 校務組織、外部評価組織の工夫

▽小中合同校務会議を開催(写真②)
校長や教頭、教務主任、研究主任が出席し、小中一貫教育の方針や方策を決定していきます。

① 兼務教員の授業や交換授業による一部教科担任指導方法の工夫

② 校務組織、外部評価組織の工夫

▽小中合同校務会議を開催(写真②)
校長や教頭、教務主任、研究主任が出席し、小中一貫教育の方針や方策を決定していきます。

子どもの多様な学力の変化から公表できるよう努めます

▽子どもたちが安心して授業を受け、より力を伸ばせるような一貫した授業のあり方を学校とともに追求していきます

▽時間や場の効果的な確保の仕方、調査研究校や他地域の事例をもとに明らかにします

▽そのほかの中学校区の学校数や規模、児童生徒数、伝統、学校間の距離などの地理的条件、地域や保護者の要望を把握した上で、学校との連携を図ります

▽小中一貫教育を推進していく場合に必要となる学向上支援教員配置などの条件整備を実施します